

NEWS LETTER

2022.12

#20



TOPICS

TOPICS : #01 Webサービスのパフォーマンスを可視化できる
「Web負荷テスト」

TOPICS : #02 年末のご挨拶

TOPICS : #03 年末年始休業期間のお知らせ

Webサービスのパフォーマンスを 可視化できる「Web負荷テスト」

先日、負荷テストサービスのセミナーを開催したところ、大変ご好評をいただきました。
ただ日程が合わずセミナー参加を断念された方もいらっしゃったので、改めてご案内させていただきます。

Web負荷テストとは？

負荷テストを行う目的

高負荷によりサーバダウンやシステムダウンが起こると、結果的に売り上げ減少や顧客獲得減少などの機会損失につながります。また最近では、社内やクライアント様から、現在のサーバで運用しても問題ないか、確認を求められるケースも増えてきています。

- 機会損失を防ぐ
- 重要システムのダウンによる支障を防ぐ
- 会社上層部やクライアント様からレポートを求められている
- サーバーのサイジング

高負荷になる要素

高負荷になる要因は多岐にわたり、CPUやメモリの使用率、ディスク入出力性能の限界、ネットワークの帯域不足、Webサーバアプリケーションの接続数の上限、リレーショナルデータベース管理システム側の性能不足、また、データベーススキーマというデータベースの構造や実行SQLの最適化不足などが挙げられます。高負荷になっている可能性のある要素に目星をつけるためには、サーバ監視を行った上での負荷テストが必要です。その結果、サーバスペックアップではなくアプリケーション側の改修が必要になる場合もあります。

サーバーサイジングの難しいケース

これからオープンするサイトやリニューアルするサイトでは、まだ最適化するための指標がありません。そこで想定されるピーク時のアクセス状況を疑似的に発生させて、負荷状況がどのようになるか測定します。もしも想定されているアクセス数を処理できないようであれば事前に構成変更する事で、ユーザーの取りこぼしを防ぐ事ができます。サイトをオープンすると同時に、大きなキャンペーンを実施される場合は特に注意が必要です。

負荷テストの実施フロー

STEP.01 負荷テスト要件詳細のご確認



STEP.02 対象Webサイトの構成をご確認



STEP.03 負荷テストシナリオの作成



STEP.04 負荷テストをかけるための実行サーバーの構築



STEP.05 負荷テスト実施



STEP.06 レポートの作成とご提案



負荷テストの例

負荷テスト実施レポート

実施日：2022年 X月 X日

実施対象：XXXX 様 XXXX システム

内容

テスト実施概要	2
実施シナリオ内容	3
テスト1	3
テスト実施結果	4
テスト1 (想定負荷)	4

- 1秒間に100アクセスで、ログインと商品登録手順を実行。
- 商品登録の各ステップは1秒でPOST遷移。

テスト実施結果

テスト1 (想定負荷)

テスト実行結果

実施時刻		2022年 X月 X日 15:00
実行結果	総アクセス数	10,000
	HTTPエラー数	0
	HTTPエラー発生率	0%
レスポンス時間 (ミリ秒)	平均	202.85 ms
	中央値	202 ms
	最小	200 ms
	最大	374 ms
スループット	リクエスト/秒	421.78
	ネットワーク受信 ※1	98.85 KB/s
	ネットワーク送信 ※1	52.72 KB/s

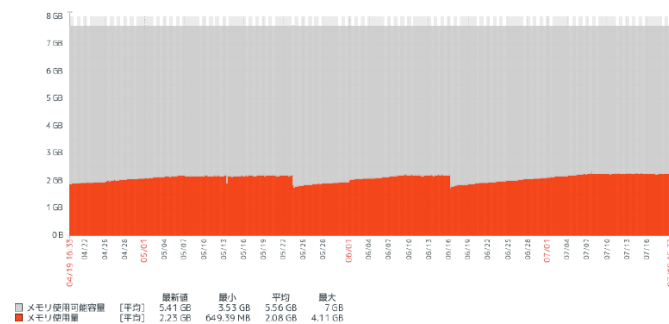
※1: JMeter 実行サーバー側から見た値となります。

- テスト中にHTTPエラーが発生していないことを確認。

HTTP エラー発生内容

HTTP エラーは発生しませんでした。

CPU 使用率が最も高い状態 (100 - CPU idle time) は 9.3427% となり、CPU 処理に余裕がある状態です。



メモリ使用可能容量の最小値は3.53 GB となり、メモリの空き状況には余裕がある状態です。

上記例のように、ご希望をお聞きし負荷テストのシナリオを作成させていただきます。また対象サーバーで負荷テストの実行が可能か確認させていただきます。負荷テストの内容によりお見積りとなりますが80万円から承っています。またネットアシストの負荷テストサービスは「レポートを作成して終わり」ではないのが特徴です。

負荷テスト後に、サーバーのパラメータ調整やスペックアップ、あるいはサーバー構成変更のご提案まで可能なので、お気軽に担当営業までご相談ください!

お客様へ 年末のご挨拶

2022年も残すところあとわずかとなりました。今年も1年、ネットアシストに格別のご愛顧を賜りまして厚く御礼申し上げます。また、毎月発行しておりますこちらのニュースレターも、おかげさまで多くのお客様にご覧頂き、営業部一同大変幸いに存じます。

さて、早いもので新型コロナウイルスの感染拡大から3年がたちました。緊急事態宣言が発令され多くの企業がテレワークへと勤務形態を移行し、現在も継続している企業が少なくありません。「出社して仕事をする」「会社の近くや沿線に住む」「客先に訪問して商談」「同僚とのコミュニケーションや飲み会」のような、コロナ前は当然だと思われていた働き方が、もはや「古い価値観である」と言われることも増えてきたように思います。

しかしながら、ネットアシストでは24時間365日でおお客様のサーバを保守するという事業の性質上、セキュリティ面に最大限配慮できるという点、障害発生時の迅速な対応やエンジニア同士の密な連携による技術力の向上、新しいアイデアの生み出しやすさなど、「テレワーク」より「出社」によるメリットの方が大きいと考え、現在もほぼ全員出社によるお客様へのサービス提供を継続しております。営業もWeb商談の割合が8割以上という状況ですが、対面でのお客様とのコミュニケーションも大事にしており、ご要望があれば訪問での商談も行っております！

少し脱線をしてしまいましたが…、今年も多くのお客様に弊社のインフラサービスをご利用頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。ここ数年で企業のDX推進が活発になっているという状況も後押ししているのか、メイン事業である24365の保守サービスのみならず、クラウドサーバの構築やリプレース、セキュリティサービスなどのご要望も数多く頂きました。また、今年は新たな取り組みやサービスもリリースすることが出来ましたので、一部をご紹介します。

制作会社様向け Webアプリケーションの脆弱性診断サービスの提供開始

コンテナ監視サービスの提供開始

負荷テストサービスの提供開始

今月のニュースレターでもご紹介した「負荷テスト」や、次月以降ご紹介させて頂く予定の「コンテナ監視」については、今までお客様のご要望ベースで対応していたものを、ある程度標準化しサービスプランとしてご提供を開始しております。ご興味のあるお客様は、弊社営業まで是非お問合せくださいませ！

弊社の企業理念の1つでもある「ITサービスを通じて新たな価値を創造し、常にお客様に感動を提供し続ける」のもと、ネットアシスト社員一同、2023年も「ネットアシストにお願いして良かった」と思っていただけの安全・安心なインフラサービスを提供してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ネットアシスト営業部部长
浅井亜由弥

年末年始休業期間のお知らせ

年末年始休業期間

2022年12月29日(木) ~ 2023年1月3日(火)

サーバーの監視・運用を行っているサービスデスクは24時間365日稼働しておりますので、サーバーに関するお問い合わせなどあればサービスデスク宛てにお願いいたします。

サービスデスク 03-3985-6781 / sd@netassist.ne.jp

エンジニアは交替で休みをとり
ますのでご安心ください🐾



営業部へのお問い合わせに関しては、休業期間明けの2023年1月4日(水)以降に順次回答をさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

それでは、皆さまもお身体にお気をつけて良いお年をお迎えください！

お問い合わせはこちらまで！



NET ASSIST
24/7 Guardian Deity

株式会社ネットアシスト

TEL 03-3985-6780 Mail sales@netassist.ne.jp

URL <https://www.netassist.ne.jp>

